

九州臨床心理学会 第46回福岡大会 ご案内（第2号通信）

秋晴れの候、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

今年度の九州臨床心理学会は、第46回福岡大会として、下記の日程と会場で開催いたします。皆様どうぞお誘い合わせの上ご参加くださいますようお願い致します。

第一号通信にて募集いたしました事例研究や自主シンポジウムには、大変多くのお申し込みを頂くことができました。おかげさまで、様々な領域に渡る充実した内容のプログラムになりました。心より感謝申し上げます。準備委員会の方でも、5つの多様なワークショップ、公認心理師に関する大会企画講演、大会企画シンポジウムを準備しております。

今回の大会が、皆様が日々の実践を振り返り、共有できる機会になりますこと、そしてこれからの心理職のあり方について共に考える機会になりますことを願っております。

1月下旬の福岡は、もつ鍋や水炊き、豚骨ラーメンの美味しい季節です。多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

九州臨床心理学会 第46回福岡大会準備委員会
委員長 金子 周平（九州大学）

1. 日 程

2018年1月19日（金）～ 1月21日（日）

2. 会 場

1月19日（金）・20日（土）

福岡国際会議場（4階）

〒812-0032 福岡市博多区石城町2-1 TEL：092-262-4111

URL <http://www.marinemesse.or.jp/congress/>

1月21日（日）

九州大学医学部百年講堂大ホール

〒812-8582 福岡市東区馬出3丁目1番1号 TEL：092-642-6257

URL <http://www.med.kyushu-u.ac.jp/100ko-do/>

3. スケジュール

1/19 （金）	12:30～ 受付			13:00～18:00 ワークショップ		18:30～ ※① ※②
1/20 （土）	9:00 受付	9:30～11:30 事例研究(1)	総会・ 昼休み	13:00～15:00 事例研究(2)		18:00～20:00 交流会 (受付17:30～)
				13:00～14:30 自主シンポジウム(1)	15:30～17:00 自主シンポジウム(2)	
1/21 （日）	9:00 受付	9:30～10:15 大会企画講演	10:30～12:30 大会企画シンポジウム			

※①九州臨床心理学会地区委員会 ※②九州地区臨床心理士会会長会

4. 内容

1日目 1/19 (金)

■ ワークショップ 1/19 (金) 13:00~18:00

コース名	テーマと講師	講師のこぼ
A コース 定員 100名	<p>臨床心理アセスメントとしての テストバッテリー -投影法(特にロールシャッハ法)を中心に-</p> <p>講師 浦田英範 (西南学院大学)</p> <p><u>▽事例提供者募集 (詳細は 3 ページ)</u></p>	<p>臨床心理アセスメントとは、クライアントさん (CI) の心理状態、精神病理、人格構造、知能水準等を理解し、心理学的支援方法の方針 (見立て) を出す事だと思っている。今回、心理テストのテストバッテリーについて、基本的な考え方と、どうそれを見立て、またその結果をどう CI さんフィードバックするのかを考えてみたいと思う。後半は事例を通して考えてみたい。(ロールシャッハ法とのテストバッテリーをした事例を募集します。)</p>
B コース 定員 30名	<p>セラピスト・フォーカシング</p> <p>講師 吉良安之 (九州大学)</p>	<p>セラピストはクライアントとの面接のなかで、容易に言葉にはなりにくいさまざまな気持ちを感じています。それらを丁寧に感じ取っていくことは、心理療法を進めるうえで重要な手掛かりになります。私はこれまで、その具体的な方法としてフォーカシングが役立つのではないかと考え、「セラピスト・フォーカシング」と名づけて実践してきました。本ワークショップではこの方法を紹介し、参加者の方々に実際に体験していただきます。</p>
C コース 定員 30名	<p>グループ・アプローチ入門</p> <p>講師 古賀 聡 (九州大学) 金子周平 (九州大学)</p>	<p>グループ・アプローチの簡単な講義の後、Moreno, J. L.によって創始された心理劇とエンカウンター・グループ (EG) (Rogers, C. R.のベーシック EGを含む) の体験をそれぞれ行います。最後にはそれぞれの体験を通して、アプローチの違いや共通点、スタッフ (director や facilitator) の役割、グループの効果についてなど、自由にディスカッションを行います。これまでグループ・アプローチに触れることが少なかった方、仕事でグループを担当し始めた方も参加できる入門的な内容です。</p>
D コース 定員 30名	<p>臨床動作法</p> <p>講師 針塚 進 (筑紫女学園大学) 大場信恵 (九州大学)</p> <p><u>▽事例提供者募集 (詳細は 3 ページ)</u></p>	<p>脳性マヒ児・者の動作改善を主たる目的で約 50 年前に成瀬悟策九州大学名誉教授により始められた臨床動作法 (動作訓練) は、現在では障害児・者の発達援助や動作改善のための援助法としてだけでなく、心理的不適応な状態にある人の心理療法として展開して来ています。講義では、この臨床動作法の基本的な考え方について考え、実習ではその基本的な技法を実習します。最後に、臨床事例の検討も行います。</p>
E コース 定員 100名	<p>チーム力を高める スクールカウンセリング</p> <p>講師 吉村隆之 (福岡県スクールカウンセラー/ 有吉祐睡眠クリニック)</p>	<p>いま学校では、文部科学省の掲げる「チーム学校」のコンセプトのもと教師はもとより多職種で協働しながら専門性を発揮することが求められています。当日は、学校で一人職場になりがちなスクールカウンセラーが、どのように学校へ入り、関係を築きながら力を発揮していくかについてお話しします。関連するグループワークも行う予定です。学校で働かれていない方にとっても、心理士の「一人職場」を経験されている方にはご参考になるかもしれません。</p>

▽A・B・C・D・E コースのうち、一つを選んで受講して頂きます。

大会ホームページ (<http://kyushucp46.jimdo.com>) の参加申し込みフォーム、もしくは本案内に同封の「大会参加申込書」のワークショップ希望欄に、ご希望のコース名を第一希望から第三希望まで記入して、お申し込みください。先着順で受け付けます。

▽A コースでは、ロールシャッハ法とのテストバッテリーをした事例を募集します。事例提供を希望される方は、11月10日(金)までに事務局にご連絡ください。

▽D コースでは、臨床動作法を適用し、終結した事例を募集します(ただし障害児・者の場合は継続中でも可。ご本人や未成年の場合は保護者の同意を得ていること)。11月10日(金)までに事務局にご連絡ください。

▽本ワークショップは、日本臨床心理士資格認定協会の関連学会へのワークショップ参加ポイントが取得できます。

2日目 1/20 (土)

■ 事例研究発表

事例研究 (1) 1/20 (土) 9:30~11:30

事例 1-A	○発表者：轟木 彩 (JCHO (ジェイコー) 九州病院) ○座 長：吉川昌子 (中村学園大学)	診断名が見つからない NICU 長期入院児の母親への 心理的援助
事例 1-B	○発表者：中島美鈴 (九州大学大学院人間環境学府/肥前精神医療センター) ○座 長：重橋史朗 (中村学園大学)	成人 ADHD 患者の集団認知行動療法における 心理社会的変化
事例 1-C	○発表者：中島 薫 (カウンセリングスペースひなた猫) ○座 長：福留留美 (福岡女学院大学)	薬物依存症の家族支援 -早期に回復支援に繋げることができた事例より-
事例 1-D	○発表者：野上裕二 (医療法人新光会 不知火クリニック) ○座 長：富永幹人 (福岡女学院大学)	復職の意思を持ちながらも、なかなか行動に 移すことができない 20 代男性との面接

事例研究 (2) 1/20 (土) 13:00~15:00

事例 2-A	○発表者：高松真理 ○座 長：植村照子 (医療法人横田会 向陽台病院)	子どもの“像”を「共に描く」ことの意味 -過食嘔吐を呈する娘を持つ母親との面接を素材に-
事例 2-B	○発表者：岡田知也 (大分市子育て支援課 東部子ども家庭支援センター) ○座 長：池田久剛 (西九州大学)	行政機関において 子どもの心理療法を行うということ ~面接者への拒絶を示した女兒との遊戯療法過程~

■ 自主シンポジウム

自主シンポジウム(1) 1/20 (土) 13:00~14:30

<p>自主 シンポ 1-1</p>	<p style="text-align: center;">育児期にある臨床心理士の子育て支援への試み 2 ～冊子「私たちの仕事と子育て」作成から～</p> <p>○企画者：山下雅子（学び舎こころん） 中山政弘（福岡女学院大学）</p> <p>○シンポジスト：谷川芳江（福岡県庁職員相談室） 中島亜矢菜（久留米工業大学） 山下雅子（学び舎こころん）</p> <p>昨年度、本学会自主シンポジウムにて、育児期にある臨床心理士への支援〈学び舎こころん〉の発足と現状についてご報告させていただきました。老若男女問わずフロアの皆さまから、育児期にある臨床心理士へのサポートへのご助言をいただき、改めて、この支援の必要性を学ばせて戴きました。</p> <p>今年度は、昨年度いただいたご意見を踏まえ、学び舎こころん参加者で検討し、〈学び舎こころん〉のような支援につながる事が難しい育児期にある臨床心理士、これから育児期を迎える臨床心理士に対する支援の1つとして冊子「わたしたちの子育てと仕事」を作成いたしました。</p> <p>当日は、この冊子作成に至った経緯や概要とともに、シンポジストから様々なライフデザインの在り方をご報告させていただきます。これから育児期を迎える方や、今まさに育児期におられる方々に自由な人生の選択肢として、子育て支援を専門とされている方々の1つの支援の視点として、参考にしていただけますと幸いです。</p>
<p>自主 シンポ 1-2</p>	<p style="text-align: center;">子どもを支えるソーシャルコミュニティ</p> <p>○企画者：高橋紀子（福島大学 子どものメンタルヘルス支援事業推進室／世界の医療団） 板東充彦（うめづメンタルケアセンター）</p> <p>○シンポジスト：入江純子（特定非営利活動法人くまもとスローワーク・スクール） 飯嶋秀治（九州大学）</p> <p>児童福祉の領域は、社会福祉学を中心に、臨床心理学や社会科学が混在する現場になりつつある。筆者らはコミュニティ・ソーシャル・アプローチとして、臨床心理学と社会諸科学が学び合う必要性をレビューしてきたが（飯嶋・高橋・板東 2017；板東・飯嶋・高橋 2017）、そこで（1）臨床家が既存のコミュニティの危機介入に入るアプローチ（山本 2000）、（2）臨床家が既存のコミュニティと自助集団を媒介するアプローチ（向谷地 2009）、（3）臨床家が既存の施設内でシステムを形成するアプローチ（田嶋 2011）と整理した。</p> <p>今回はシンポジスト2名の現場での経験が、この3つのアプローチから振り返った時にどうであったのかを検討しつつ、子どもを支えるソーシャルコミュニティについて考える。</p> <p>入江は、里山のゆたかな自然の中で、発達障がいやうつ病など、脳機能にハンディキャップを持つ方、および社会的ひきこもりや不登校の方の“まなぶ”“はたらく”を支援する特定非営利活動法人くまもとスローワーク・スクールでの実践を報告する。飯嶋は、児童間の暴力に思い煩い安全委員会方式を導入した児童養護施設での個別の児童との関わりから、臨床家が現場を支えるうえでどのような学際的活動の課題とのつきあい方をできるのかを整理する。</p>

<p>自主 シンポ 2-4</p>	<p>トラウマ臨床の技法の使い分けを考える —持続エクスポージャー療法・EMDR・ホログラフィートークの比較—</p> <p>○企画者：矢野宏之（EMDR専門カウンセリングルーム リソルサ） ○シンポジスト：大友理恵子（医療法人 黒崎中央医院 デイケア・リワーク部長） 原賀一敏（EMDR専門カウンセリングルーム リソルサ） 矢野宏之（EMDR専門カウンセリングルーム リソルサ）</p> <p>PTSD及び解離症の治療を行う上では、通常のカウンセリングではなくトラウマの治療に特化した治療が必要になる。代表的な治療法としてPTSDの心理療法としてエビデンスが確立されている持続エクスポージャー療法、EMDR(眼球運動による脱感作と再処理法)がある。我が国にでも、ホログラフィートークと呼ばれる心理療法が開発されている。PTSD及びトラウマの問題を抱えるクライアントは、虐待に代表される複数回のトラウマを経験することも多く、その結果として解離症状を伴いやすい。また、解離症の治療においてもトラウマの治療は必須になる。トラウマに解離症状が伴うと、一般的に治療が困難になることがわかっている。本シンポジウムでは、それぞれの心理療法の概要と特色を紹介し、実際のクライアントに対してどのように治療を組み立てていくか、解離症状という問題にどのように対応するかを考える。</p>
---------------------------	---

3日目 1/21（日）

大会企画「公認心理師のこれから」

<p>I 大会企画講演 1/21（日）9：30～10：15 公認心理師のこれから —経過措置、試験、養成—</p> <p>○講師：野島一彦（跡見学園女子大学教授、九州大学名誉教授、 日本臨床心理士会公認心理師制度対応プロジェクトチーム代表） ○司会：増田健太郎（九州大学）</p> <p>II 大会企画シンポジウム 1/21（日）10：30～12：30 心理職の今までとこれから —各領域からの期待—</p> <p>○企画・司会：増田健太郎（九州大学） ○シンポジスト ・教育の現場から：内田久徳（福岡市教育委員会指導部教育相談課 課長） ・福祉の現場から：米田 博（福岡市社会福祉事業団 事務局長） ・産業の現場から：日高崇博（株式会社ジャパン EAP システムズ、一般社団法人福岡県臨床心理士会） ・医療の現場から：林 道彦（医療法人社団うら梅の郷会 理事長、公益社団法人日本精神科病院協会 専務理事） ○指定討論者：黒木俊秀（九州大学）</p> <p>ご存知のように平成 27 年 9 月に公認心理師法が成立しました。平成 30 年には最初の試験も行われます。今まさに臨床心理士や公認心理師などの心理職の新しいあり方が問われている転機にあると言えるでしょう。今回の大会企画では、常に国家資格の成立をリードしてこられた野島一彦先生に公認心理師のこれからの話をさせていただきます。シンポジウムでは、心理職が様々な形で関わり続ける複数の領域の視点から、各領域の専門の先生方に「各領域からの期待」として、心理職に求める技術や態度についてお話しいただきたいと思ひます。</p> <p>心理職に求められる職務内容は心理検査、心理面接からグループないしコミュニティ・アプローチ、コンサルテーション（他職種連携）まで多様な内容があります。本当に社会に役に立つ質の高い心理職とは何か。今、心理職に何が期待されているのかを共に考えていく機会にしたいと思います。</p>

5. 交流会

日時：1月20日（土）17：30 受付 18：00 開始（20：00 終了予定）

会費：5,000 円

会場：福岡サンパレス1階 レストラン&カフェ Lagoon（ラグーン）

〒812-0021 福岡市博多区築港本町2番1号 TEL 092-272-1123（代表）

<http://www.f-sunpalace.com/info/access/> ※福岡国際会議場の隣の施設です。

6. 参加費用

①大会参加費

<事前申込>会員：6,000 円、非会員：7,000 円、学生（大学院生）：3,000 円

<通常申込>会員：7,000 円、非会員：8,000 円、学生（大学院生）：4,000 円

②交流会費（1月20日）5,000 円

※ 参加資格：本学会会員のほか、非会員、学生もお申し込みいただけます。なお、非会員および学生は、臨床心理関連業務に携わるか関連学科に所属し、守秘義務を遵守できる方に限定させていただきます。3日目（1月21日）の大会企画講演、大会企画シンポジウムは一般公開ですので、この限りではありません。

7. 事前参加申し込みについて

<ホームページより事前申込みをする方法>

- ①インターネットより、大会ホームページ（<http://kyushucp46.jimdo.com>）にアクセスし、参加申込みフォームに必要事項を入力し、送信。
- ②以下の指定口座に参加費用を入金。

<郵送により事前申込みをする方法>

- ①本案内同封の「大会参加申込書」に必要事項を記入し、大会事務局あてに郵送。
- ②以下の指定口座に参加費用を入金。

●振り込み先（ゆうちょ銀行から入金する場合）

振込先：ゆうちょ銀行 番号：01750-2-146327 番

口座名義（漢字）：九州臨床心理学会第46回福岡大会準備委員会

口座名義（カナ）：キュウシュウリンショウシンリガツカイダイヨンジュウロク

●ゆうちょ銀行以外の金融機関から入金する場合

金融機関名：ゆうちょ銀行 店名：一七九（イチナナキュウ） 店番：179

預金種目：当座 口座番号：0146327

口座名義（漢字）：九州臨床心理学会第46回福岡大会準備委員会

口座名義（カナ）：キュウシュウリンショウシンリガツカイダイヨンジュウロク

※ 事前参加の申し込みは、2017年12月22日（郵送の場合は当日消印有効）までとなっております。振り込みの確認が完了した時点で申し込み完了となりますので、お早めにお申し込みください。

※ 12月22日以降の申し込みについての参加費は通常申込の金額となりますのでご注意ください。通常申込の振り込みの受付期限は2018年1月12日（金）までとさせていただきます。それ以降は当日の会場に来られた際にお支払い下さい。

8. その他

○本学会は、日本臨床心理士資格認定協会の「関連学会」（臨床心理士教育・研修規定別項第2条3号）として認定されております。したがって、事例の口頭発表者は4ポイント、学会参加者には2ポイントの研修ポイントが取得できます。

名札が参加証となっております。再発行はいたしませんので、大切に保管しておいてください。

9. アクセス

■福岡国際会議場へのアクセス (<http://www.marinemesse.or.jp/congress/access/pdf/print.pdf>)

<博多駅からお越しの場合>

西鉄バス 博多駅シティ銀行前 F乗り場（※注 博多口側）より、

- ・99番【博多ふ頭行】に乗り、国際センターサンパレス前にて下車
- ・88番【中央ふ頭行】に乗り、国際会議場サンパレス前にて下車

※福岡空港からお越しの場合は、地下鉄で博多駅まで向かい、上記西鉄バスをご利用ください。

<天神からお越しの場合>

西鉄バス ソラリアステージ前 2A乗り場より、80番【中央ふ頭行】に乗り、国際会議場サンパレス前にて下車



A 博多駅周辺MAP Hakata Station Area Map



A 天神駅周辺MAP Tenjin Area Map

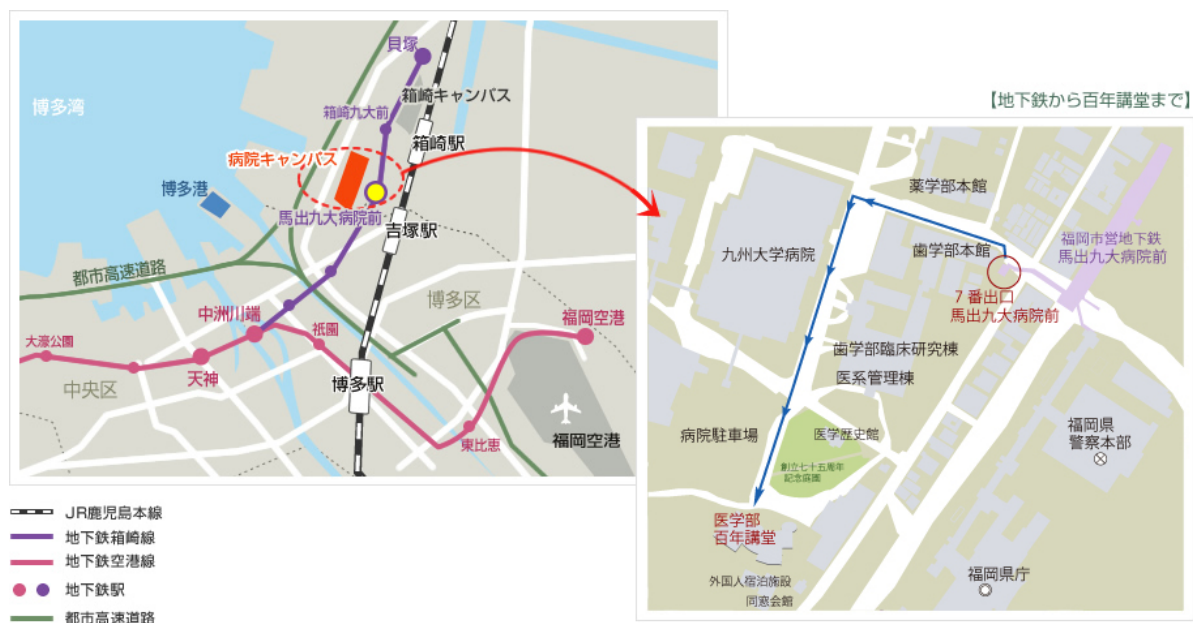


<博多駅からお越しの場合>

- ・地下鉄 博多駅より中洲川端で箱崎線に乗り換え、馬出九大病院前駅で下車。7番出口より地上に出て、九州大学病院東門へ。
- ・JR鹿児島本線 博多駅より吉塚駅で下車。徒歩 15 分。九州大学病院東門へ。

<天神よりお越しの場合>

- ・地下鉄 天神駅より中洲川端で箱崎線に乗り換え（貝塚行きの場合乗り換え不要）、馬出九大病院前駅で下車。7番出口より地上に出て、九州大学病院東門へ。



10. 大会に関するお問い合わせ（事務局）

九州臨床心理学会第46回福岡大会 準備委員会事務局

住所：〒812-8581 福岡市東区箱崎 6-19-1

九州大学大学院人間環境学研究院 金子研究室内

E-mail : kyushucp46@hes.kyushu-u.ac.jp

大会ホームページ <http://kyushucp46.jimdo.com>

九州臨床心理学会 第46回福岡大会 事前参加申込書（郵送用）

私は、ワークショップ及び大会において知り得た事例に関して、一切口外しないことをお約束し、参加申込みをいたします。

		申込み書提出日	年	月	日
ふりがな 氏名		九州臨床心理 学会会員	<input type="checkbox"/> 会員		
所属先		臨床心理士 登録番号	<input type="checkbox"/> 非会員		
連絡先住所	〒				
電話番号①		電話番号②			
E-mail					

※個人情報につきましては、本大会に関する事務・連絡事項以外に使用することはありません。

希望のワークショップ (A・B・C・D・Eをお書きください)	第1希望	第2希望	第3希望

大会参加費	<input type="checkbox"/> 学会員	6,000円			
	<input type="checkbox"/> 非会員	7,000円			
	<input type="checkbox"/> 学生（院生）	3,000円			
	<input type="checkbox"/> 交流会	5,000円			
振込金額合計	円	振込予定日	年	月	日

※振込み締め切りは、**2017年12月22日（金）**となっております。

振込みの確認ができて申込み完了となりますので、お早めにお振込みください。

■事前参加申込書郵送先

〒812-8581 福岡市東区箱崎6-19-1
九州大学大学院人間環境学研究院 金子研究室内
九州臨床心理学会第46回福岡大会 準備委員会事務局 宛

※事務局記入欄

受付番号	振込確認	振込金額